

事業報告書

第1 事業結果の概要と運営状況

新型コロナウイルス感染率は緩やかに低下している時期もつかの間で再び感染率は急上昇し、行事を立案することに困難があった。しかし、職員はキャリアを生かしコロナ感染拡大防止策を講じながら、常に工夫を凝らし園児や保護者の気持ちに寄り添いながら実施し保育の運営は安定していました。そして、保育園は安全であることが何よりも最優先されるべきと感じていることから「事故防止安全委員会」を定例職員会議とは別に開催してきました。職員の意識向上の成果もあり、無事故で1年を終えたことは大変安堵しているが、今後も過信することなく常に安全な保育園を志していきます。近隣の幼稚園が認定子ども園となりその影響を受け、本園は89名のスタートだったが3年度の途中0歳児を増員し計10名の園児を確保出来ました。保育園近隣の少子化も加速しているため、今後の最大の課題は園児確保であると感じています。

1 保育の方針

本園は豊かな自然に囲まれ恵まれた環境にあります。しかし、施設外活動は外部との接触が多くなるため、散歩先や交通手段などの選択に苦慮しました。年長児が楽しみにしている福生市民会館で公演される観劇会は例年JRを利用するが一般客との接触を避けるためにマイクロバスを利用することで心温まる影絵を鑑賞することが出来ました。年長児江の島水族館の思い出遠足も繁忙期を回避した結果、2年ぶりに無事安全に実施し年長児にとって保育園の最後の思い出作りが出来たことは、本園の保育方針への関心、信頼感が高まったように感じ取れました。

2 財政の健全化

令和3年度は定員割れの状況でしたが97名の園児で運営しました。また、パート保育士は短時間勤務を条件として雇入れすることが定着し人件費の他、社会保険や退職金などの事業主負担の支出が削減されました。「保育園は朝夕が黄金なり」と言いますがキャリアのあるパート保育士を特例保育に配属することで長時間保育のニーズに合った安定感が確保され、安全に考慮した保育の形態を維持出来ていると感じています。また、年度末は臨時特例手当も支給されコロナ対応により過重労働化している保育業務が社会的に認められ職員を労える結果となりました。

3 職員の資質の向上

「子どもの最善の利益を優先する保育」を目標に保育計画を立案しました。コロナ禍において資質向上のための研修会が中止となり、リモートは研修意欲が薄くなる傾向でしたが、リモートも積極的に参加出来るような体制を作って参りました。「保育環境を考える会」は市外も含む縦割り保育を実践している保育園の組織で運営しております。今年も自主的に7名が参加し切磋琢磨し情報交換をしたことで本園の「縦割り保育」のあり方を再認識出来ました。また、園長が年度末、職員面談を実施いたしました。心の内を傾聴する中で職員の保育への熱意を感じる内容が多々ありました。職員は未経験のクラスを希望する内容が多く、4年度はその希望を叶える結果としました。そして、「働きやすい職場」「やりがいのある職場」として、離職する職員がいばかりか、4年度は本園の新しい形として開園以来初めてとなる、男性保育士を採用しました。男児の活発化と家庭的でバランスの良い保育を築いて参ります。

4 地域社会との交流

理事長並びに法人役員皆様のご理解ご協力のもと、時代とニーズに合ったホームページを再構築することが出来ました。保育園の情報を多方面に発信することが叶い、保育園の行事は以前にない多数の来園者があり、その影響力を実感しております。対象は未就労働の保護者が多いため、すべてが入所には繋がりませんが、その中で母親同志の交流も感じ取られ3年度はこれらが大きな地域交流に繋がったと実感しております。ここで成し得たご縁を今後も繋げていくために未就園児と保護者を対象に、保健、育児、食育などをテーマにした通知を送付し今後も続けていきます。今後も開かれた保育園として、未就園児や近隣高齢者と絆を深めて参ります。

5 安全対策

項目は危険物、遊具の状態、害虫、通り抜けの確認等ですが、職員は「園庭チェックシート」を基に安全を確認後、園児に園庭を利用させています。保育室も同様に園児が登園する前に、転倒防止、誤飲防止のための教具の数を確認しその数は記録しております。特に乳児組においては乳児突然死症候群（SIDS）防止のため「午睡時チェックシート」を活用しながら十分な観察をして参りました。経年劣化が原因となる施設内の破損や故障が多かったが早急に処置しました。避難訓練は多様な状況にも臨機応変に対応出来るような訓練内容訓練を取り入れて参りました。

6 園庭整備等整備

令和3年度は記載事項なし。

7 苦情処理

一般的な苦情相談には意見箱のほか、子育て情報を保育園から発信したり、保護者を通した相談のほか、直接事務室で対応するなど解決に努めた。

8 延長保育

延長保育を前年同様に午後6時から午後7時の1時間として実施した。